

## — 『飛躍』の年—



新年がスタートして早一ヶ月が過ぎ、暦の上では春を迎えました。都市部で緊急事態宣言が延長されるなか、各市町村（学校組合）教育委員会及び各学校におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子供たちの学びの保障にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

中部教育事務所としまして、12月に実施されました県学力定着状況調査結果の分析や授業改善への活用、個々の児童生徒の学力補完の取組の一助となりますよう、ウインターセミナー（リモート研修）を開催しているところです。多くの先生方や校内研としての参加をいただき、大変嬉しく思っています。

また、第2回学力向上研究主任会も、第1回と同様にオンデマンド開催とさせていただきました。その中に「指導と評価の一体化のための学習評価」、「学力調査を活用した授業改善」、「実践力に変える校内研修のマネジメント」を3つのテーマとして発信させていただきました。学力調査を効果的に活用する校内研修の事例も紹介していますので、研究主任の先生方に留まらず校内研修としてより多くの先生方にご視聴いただく等、各学校で是非、効果的にご活用いただきたいと思います。

さて、いよいよ次年度から中学校においても新学習指導要領が全面実施となります。資質・能力ベースの単元づくりや主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善が本格的に始動することとなります。また、新しい時代の学びのツールとして、一人一台タブレット端末が整備される等、学びのスタイルもデジタルシフトしようとしています。新たな学びの幕開けに向け、我々中部教育事務所も大きく「飛躍」し、学校支援に努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

### Chubu's Topics



○中部教育事務所では、次年度の取組の重点課題として次の6点を整理しております。

- 学習の基盤となる言語能力の育成を目指すために教科等の特質に応じた言語活動の充実を図ることが必要である。
- 若年教員を育成する体制づくりの推進や教科間連携等による学校組織マネジメントの充実が必要である。
- ICT活用に関する理解を深めたり教材の活用方法や指導方法を習得したりすることが必要である。
- 校内支援会の充実を図り、不登校の未然防止、初期対応の取組等を組織的に進めることが必要である。
- 複式学級のある小学校において、教員の指導力向上や授業改善の推進を図ることが必要である。
- 接続期実践プランに基づく、接続期カリキュラム等の継続的な実施・改善を促進することが必要である。

○学力向上に向けて、「組織力向上」と「授業力向上」に重点的に取り組んでまいります。

#### 【組織力向上の取組】

- ・ メンター制を活用したOJTシステム  
小学校・中学校への導入・拡充を支援します。
- ・ 中学校の教科間連携・タテ持ち  
週時程へのチーム会・教科会の位置づけや、内容の充実等を支援します。
- ・ 小学校の教科担任制（高学年）  
モデル校の取組を支援するとともに、管内へ広がります。
- ・ 学校経営計画  
アドバイザー訪問により、学力向上に向けた学校経営や小中連携の取組を支援します。

#### 【授業力向上の取組】

- ・ 授業づくり講座  
拠点校及び協力校の取組を支援し、管内へ研究方法や研究成果を広げます。
- ・ 研修サポート訪問メニューの充実  
リモートによる研修やICT活用の研修内容を導入し、サポートメニューを充実します。
- ・ ベストミックスによる研修の実施  
オンデマンド、リモート、集合による研修を組み合わせ、校内研修を支援します。
- ・ 授業改善プラン訪問  
組織的な授業改善への支援を充実します。